

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期第4回相模原市中央区区民会議		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802 (直通)		
開催日時	令和5年2月2日(木) 10時00分～11時43分		
開催場所	相模原市民会館2階 第2大会議室		
出席者	委員	22人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	17人(中央区長、中央区副区長、他15人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">1 議題</p> <p style="text-align: center;">(1) 第7期中央区区民会議重点行動の検討について</p> <p style="text-align: center;">(2) 各グループ進捗状況の確認</p> <p style="text-align: center;">2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

主な内容は次のとおり。

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

—傍聴希望者 なし—

1 議 題

(1) 第7期中央区区民会議重点行動の検討について

各グループワークでの検討内容について、進捗状況を発表した。

グループ1（発言者：加賀谷委員）

これまで、無料学習塾や子ども食堂の実態を社協などから情報をいただき、それを受けて、本日は、無料学習塾や子ども食堂などの団体同士の情報共有や横の繋がりを構築することが大事であるというところから話を始めた。

実際に無料学習塾や子ども食堂を開設している地域では、本当に必要とされているからこそ開設されたのかどうかという調査があまりされていない状況であるため、本当に必要であるかどうかの確信が持てないところがほとんどである。

また、各地域で働きかけや声かけをする人が必要ではないかということについては、市内2地区にいるCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の方や地域包括支援センターなどが高齢者だけではなく子どもの問題にも枠を広げて取り組んではどうかという話も出た。

視点を変えて、無料学習塾や子ども食堂を必要としている家庭では、親が忙しくチラシを見ることや子どもを連れていく時間も余力もない状況である。そのため、まずは親の支援として、相談できる場所や親子で参加できる場所等の居場所づくり等が必要なのではないか。1つの例として、ある保育園では、子ども食堂の運営主体と調整し、子ども食堂で残ったお弁当を保育園で受入れて親にお渡しをするという取組が行われている。

大事なのは、親が元気になる仕組みの先に無料学習塾や子ども食堂が本来はあるべきではないか。

本日の話し合いでは、親に寄り添う仕組みづくりが必要という意見が出た。

（飯島会長）

親を支援するという視点は初めて出てきたので、良い視点だと思う。ある保育園では保育園が主体となって行っているとのことだが、市全体として見たときに、同じように保育園にお願いするのか、今後、主体者となれるところがどこなのかを選定していただき、その団体にお願

いできるのかも含めて考えていただきたい。

グループ2（発言者：水谷委員）

先ず、小田急多摩線の延伸については、現時点では情報収集することや、新たな情報があれば勉強しながら話を進めていこうという意見となった。

次に買い物支援については、コミュニティバスと買い物支援をどうするかの2つある。

1つ目のコミュニティバスについては、収支が合わないことや運転手不足などいろいろな課題がある。また、緑区でのスローモビリティの実証実験や乗合タクシーなんかもあるので、こちらについても、勉強をしながら話を進めていくこととし、今回は、市で持っている情報をグループ内で共有し、内容を詰めていきたい。

2つ目の買い物支援については、1つの例として光が丘地区で県央福社会という法人が携わっているとの情報がある。今回はもう少し情報を集めた中で話し合いたい。

また、買い物支援の手法として、PPP/PFIを活用して、民間と行政とがタイアップした中で、買い物支援をうまく運用できないかという話も出た。

一方で、民間でやっている買い物支援に準じるサービスがあるが、周知されていないので、一覧を作成して皆さんに情報を公開していくことが大事である。

買い物支援には、自宅に届けてもらうというサービスがあるが、本当の買い物の楽しさは、実際にスーパー等のお店で実際に見ながら買う事だと思うので、お店までバス等を巡回させて連れて行ってくれるというシステムができないか等の意見が出た。

次回、コミュニティバスについて、光が丘の実例について、PPP/PFI導入の可能性について、小田急多摩線延伸について、もう少し勉強をしていきたい。

（飯島会長）

私も今回のグループワークに同席していたが、行政が持っている情報であったり、コミュニティバスを運行しているが、採算が取れていないこと等の情報を市民が知らなかったり、逆に市民のニーズを行政がうまく吸い上げられていないなどの状況があると認識した。

区民会議は行政と区民とを繋ぐ役割でもあるので、もっと市からの情報を得て区民の皆さんに伝えることや、区民の実情を市に伝え、吸い上げてもらうような区民会議になるとよい。

グループ3（発言者：山口委員）

1つ目として、広報さがみはらをより多く市民に読んでいただくためにはということで話し合った。

現在、新聞折り込み、各駅或いはコンビニや公共施設、福祉施設で配布しているほか、ホー

ムページや専用アプリ、LINEといった電子媒体でも提供している。

この電子媒体で提供していること自体を知らない方が多くいる状況であるため、少しでも多くの人に周知方法について話し合った。

既に電子媒体で取得する方法については市でチラシを作成して周知しているため、このチラシを活用し、市にお願いし、自治会加入率約50%の世帯に自治会連合会を通じてチラシの全戸配布や回覧と自治会掲示板での周知をお願いする。

また、市内のマンションにも周知したいが、ほとんどが自治会連合会に加入していない状況であるため、市から個別にマンション管理組合にチラシの掲示や回覧等お願いしていただくよう働きかけをしたい。

同時に自治会連合会に対しても市に協力してもらえよう働きかけをしたい。

(発言者：斎藤委員)

2つ目のテーマとして、都市の自然を次世代につなげるまちづくりについて話し合った。

中央区は、緑区と違い自然が少ない地域である。このままでは、残っている自然があつという間にビルや駐車場になってしまう。そのため、今ある自然環境をどのようにして豊かにして残していくことができるのか、また、区民の皆さんがどのような暮らし方をしていけばよいのかという事を大きな目的に話し合った。

まずは、自然の大切さ、中央区の自然の特徴や課題、今後どうしたらいいのかということについて、できれば次回の区民会議全体会で学習会を開催して、委員全体で共有したい。

次に、実際の緑地等の現場を視察してどのようにしたら良いかを考えていきたい。

例えば、東淵野辺2丁目市民緑地があり、地域の人たちが除草等の維持管理をしている緑地がある。実際の管理では、市と地域の方との意思疎通ができておらず、市で苦情等があったのか分からないが、急に伐採されてしまったりすることがある。

この緑地は民地であり、地主さんの協力により緑地が維持できているが、相続等で売却されてしまうと守ってきた緑地が無くなってしまう可能性があるため、どのように残していったらよいのか、また、他の地域でも同様の課題があると思うので視察をしながら考えたい。

もう1箇所、中央区にある補給廠について、一部返還されたりして、スポーツ公園ができているが、米軍の補給廠内では毎年、自然調査がされていて、絶滅危惧種が多数生息していることが確認されていて、オオタカも生息していることが分かっている。今後の補給廠の開発によって失われてしまわないよう、情報をしっかり持った中で、共生できるような開発も考えていかなければいけない。また、米軍からの情報として、日本側で管理している畦道部分について、現在は手入れがされていないために絶滅危惧種が見えなくなっているとのことである。このように今ある

自然環境が失われないように考えていく必要があるので、視察をしたい。

その後、区民としてどのような行動をしたら良いかについては、皆が参加でき、未来に繋がる暮らし方について環境とか安全とかゴミとかCO2削減とか楽しく学べるような学習のプログラムを作って各公民館とか自治会で開催していきたい。このプログラムづくりについては、地域のNPOや大学や専門家が協力しながら中央区らしいプログラムができればよい。その時に、自然を守るという意味で、中央区の木とか花とかを選定してはどうか。相模原市では木は「けやき」、花は「あじさい」というのが決まっている。中央区らしい木や花を植えようというキャンペーンをやりたい。

(飯島会長)

1つ目の広報さがみはらについては、対象や働きかけについてまとめられているので、この内容で要望等の原案を作成し、全体会で承認をもらい働きかけできればよい。マンション管理組合への依頼は市から直接なのか自治会からなのか手法は検討いただきたい。

2つ目について、学習会をこの区民会議でやることは、これからの都市の状況という部分では知らない部分もあるので、情報共有という意味では良いのですが、ずっと区民会議の中でやっているだけでは中央区内に情報が広がっていかないので、どうやって市民の皆さんに情報を広めていくのかを考えていただきたい。

その中で、大学の公開講座というのがあり、何百人も受講することができたりする。大学の先生だけでなく専門家にも来てもらい講師となることも可能なので、活用するのも良いかと思う。その他にも公民館の公開講座という形もあるので、どのような形が望ましいのかをもう少し議論していただきたい。

閉 会

小林副会長あいさつの後、閉会。

第7期第4回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安藤孝洋	小山地区まちづくり会議		出席
2	飯島泰裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
3	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
4	小川紳夫	相模原市公民館連絡協議会		出席
5	加賀谷育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
6	小林充明	上溝地区まちづくり会議	副会長	出席
7	斎藤奈美	特定非営利活動法人さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
8	酒井志保	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
9	坂本洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
10	清水洋子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
11	代田修	田名地区まちづくり会議		出席
12	末永暁子	横山地区まちづくり会議		出席
13	鈴木泰信	中央地区まちづくり会議		出席
14	高橋采花	公募委員		欠席
15	田所豊	相模原交通安全協会		出席
16	丹波晴道	清新地区まちづくり会議		出席
17	中村太郎	相模原商工会議所		出席
18	原田克也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
19	水谷好男	公益社団法人相模原市観光協会		出席
20	森田麻里子	公募委員		出席
21	八木貴弘	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
22	八木鉄雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
23	山口信郎	大野北地区まちづくり会議		出席
24	横山志穂	公募委員		出席
25	割柏秀規	光が丘地区まちづくり会議		出席